

## 2022（令和4）年度 事業計画

### 公益事業

#### ア、開発途上国支援事業

##### ア-1 情報提供事業

（独）国際協力機構から研修指導・運営を委託されて実施し、蓄積されてきた優れた研究・実践レポートをデータベースとして情報提供する。また、アジアリソースセンターで実施しているアジア会議での「星槎賞」を受賞した研究・実践についてもデータベース化し、情報提供する。

##### ア-2 開発途上国で実施する事業

アジア知的障連盟に加盟する国等と連携し、開発途上国の非営利団体活動支援のために人材を派遣等についてニーズ調査を行う。

#### イ、国際交流事業

##### イ-1 アジアおよびその他地域の関係者との連携強化

2022年12月アジア知的障害会議理事会に参加する。

#### ウ、日本国内の発達障害者の生活向上と社会統合をめざす事業

##### ウ-1 発達障害福祉月間の実施

内閣府主催の12月に実施される障害者週間セミナーへエントリーするとともに、構成団体と協力し、全国の関係機関へ啓発事業の実施を呼びかける。

##### ウ-2 情報提供事業

- 1 発達障害白書の2023年版の編集、発達障害分野の書籍・DVDの頒布。
- 2 JLNEWSの発行、ホームページ等での情報発信。

国内外の情報を提供することを目的として、隔月（141—146号）および号外1号を発行し、関係団体（者）に配布する。テーマは、医療、教育、福祉、法改正、国際協力等。A4版8ページ。5月6,000部配布/号、7、9、11、1、3月500部配布/号、号外号8,000部配布。また、ホームページ等を充実させ、構成団体の研修等の情報も掲載し、様々な情報提供に努めると共に事業の理解・協力者の獲得をはかる。

##### ウ-3 研究・啓発事業

- 1 発達障害医学セミナーを配信または集合研修にて開催する。

テーマ：発達障害の併存症

日 程：12月調整

場 所：青山学院大学

定 員：100名

-2 (1) 発達障害自閉症セミナーを配信または集合研修にて開催する。

テーマ：共生社会の実現を目指した自閉症支援を考える

～自閉症支援のコアスキルを学ぶには～

日 程：2022年9月10、11日（土、日）

場 所：北とぴあ（東京都北区）

定 員：100名

(2) 発達障害児・家族に関わる支援者を伸ばす実践セミナーを配信または集合研修にて開催する。

テーマ：【講義/演習から学ぶ】子ども支援・家族支援の実践セミナー

～子ども支援の手だて、支援計画の立案、保護者面接の実際の事例を通して～

日 程：2022年10月29、30日（土、日）

場 所：北とぴあ（東京都北区）

定 員：100名

ウ-4調査、資料収集、研究事業

実施の予定なし

ウ-5事務所賃貸事業

本連盟と同様の目的で活動する非営利団体に事務所および会議室を賃貸する。

## その他の活動

組織の運営・強化

(1) 正会員の拡大

(2) 準会員の拡大

(3) 賛助会員の拡大 ※別紙拡大案資料

(4) 寄付金獲得

新しい時代に合った資金獲得手段（クラウドファンディングなど）を活用し、連盟の強みを生かした事業を計画し、賛同者と資金獲得を目指していく。また、連盟の事業を企業などに周知し、事業などに対する寄付獲得する。

(5) 委員会の設置

事業運営を円滑に行う為に委員会を設置し、事業の内容の検討を行う。

(6) 総会・理事会の開催

6月に令和3年度決算についての理事会・総会を実施する。また、3月に令和5年度の予算理事会を実施する。